

平成28年7月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成28年6月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成28年6月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 27 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	593	440	534	470	456	544	510	552	558	464	387	490
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887	71,822	55,460	64,288
顧客口座数 (単位:口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463	268,916	270,219	271,544
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815	51,725	50,355	49,480

年 月	平成 28 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	572	559	529	473	468	735						
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113						
顧客口座数 (単位:口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816						
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133						

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 6月次の概況 >

6月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝110円台後半で取引が始まり、3日に発表された米国雇用統計が市場の予想を下回りドルが大きく値を下げるなどドル安円高傾向で推移しました。その後、16日の日銀金融政策決定会合及び会合後の日銀総裁記者会見において追加の金融緩和についての言及が無かったことから、更にドル安円高が進み、一時103円台半ばの安値をつけました。ところが、同日、英国EU残留派議員が殺害されると、次第に英国民投票においてEU残留派が優勢になるとの予想が広がり、24日の投票当日にかけてドルは106円半ばまで値を戻しました。ところが英国民投票当日、開票が進むにつれEU離脱派の優勢が伝えられると、リスク回避の円買いから急激な円高となり、一時99円台前半の安値をつけました。その後は、急激な円高の反動からやや値を戻し、103円台前半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、英国民投票の影響から英ポンド／円が平成20年秋のリーマンショック時に匹敵する高い変動率となった他、ユーロ／円をはじめ総じて高い変動率となり、米ドル／円を含めての全体としての変動率も平成25年4月以来の高い水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、英ポンドやユーロをはじめとして大きく増加し、前月比33%増加の911億通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に収益性の低い米ドル／円の占める割合が大きく低下する等により全体の取引高当たり収益性が高まったことから前月比57%増加の735百万円と、平成23年10月以来、約4年8ヶ月振りの高い水準となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は大幅な為替変動により外国為替相場に注目が集まったこともあり、前月比2,456口座増加の280,816口座と大きく増加した一方、外国為替取引預り証拠金は、急激な円高の進展に伴い顧客の外貨買いポジションに損失が生じたこと等により、前月末比2,344百万円減少の57,133百万円となりました。なお、このうち、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金は、前月末比1,536百万円減少の8,668百万円であります。

以 上